

第9回大阪圏ライフサイエンス推進協議会

(議事要旨)

日 時:平成21年8月4日(火)

14:00～16:00

場 所:大阪府公館 大サロン

1 開会

2 挨拶

内閣官房地域活性化統合事務局次長(以下、座長)より挨拶。

地域活性化統合事務局(以下、事務局)より、協議会の議事について、今後特段の支障のない限り、原則公開とする旨説明し、了承。

3 委員紹介、資料確認

4 協議会設置要綱の改正

事務局より、協議会委員の組織変更に伴う変更について説明し、了承。

5 進捗状況に関する報告

(1)関西全体の進捗状況報告

- ・ 関西バイオ推進会議事務局長より、基本構想に掲げる16のプロジェクトの進捗状況の報告。
- ・ バイオクラスター連携委員会の活動が順調であり、海外でも本委員会の認知度が高まり、フランス、ドイツ等との連携をはかり、国際バイオテクノロジー見本市での共同出展を行うことができた。今年度もフランス、カナダ等でのセミナーを検討している。

(2)各プロジェクトの取組報告

①大阪府

- ・ 現在の彩都ライフサイエンスパークでの進出立地状況は約7割程度である。
- ・ 平成20年度は「ベンチャー支援」、「治験促進」、「規制緩和」の三本柱で取り組みを進めた。
- ・ 新たなプランとして「大阪バイオファンド(仮称)を立ち上げ予定。

②京都府

- ・ 関西学研都市メディカルコンプレックス構想プロジェクトを推進中。特に、予防医学研究センターの活用、奈良県と連携したヘルスケアクラスターの構築、光医療産業バレー構想の3点に力を入れている。
- ・ 今後もけいはんな新産業創出・交流センター等と連携をはかり共同プロジェクトの検討推進をはかる。

③兵庫県

- ・ 大型放射光施設 SPring-8を核として、播磨科学公園都市を光科学技術分野の国際拠点として形成を目指す。
- ・ 平成22年度には神戸市に次世代スパコン施設が完成予定。
- ・ 兵庫県COEプログラムによるベンチャーの立ち上げ支援については、これまでの7年間で86件を支援し、うち3割がライフサイエンス分野である。

④奈良県

- ・ けいはんなヘルスケアクラスター事業において、「妊婦見守り」「泌尿器」「生活習慣病」の3つのユビキタス生体計測ヘルスケアデバイスシステムの開発を行っている。
- ・ 健康関連産業の新事業展開プロジェクトは、奈良県特産の植物素材(吉野葛、大和茶等)を活かした商品化を進めていく。

⑤滋賀県

- ・ 今年度、長浜バイオ大学において2学科新設、長浜バイオサイエンスパーク内の企業、大学シーズを活用すべく長浜バイオクラスターネットワークが設立された。
- ・ 今後、商工会議所との連携や地域の自立的な取り組みを促す。

⑥和歌山県

- ・ 和歌山バイオ戦略として、「アグリバイオ」と「環境・食品バイオ」推進している。
- ・ 「アグリバイオ」については、今後研究成果をいかに地域産業に活用するかが課題。
- ・ 「環境・食品バイオ」については、和歌山特産果実である梅・柿の新機能性食品の開発を進めていく。

⑦徳島県

- ・ 「ヘルステクノロジーを核とした健康・医療クラスター創成構想」を進めており、今年7月に文科省の知的クラスター創成事業に採択された。
- ・ 全国的にも徳島県が糖尿病の死亡率のワーストが続いており、徳島大学を研究機関の核として、臨床・研究を進めている。
- ・ 将来構想として、糖尿病研究の成果についてを中国をはじめとするアジアの富裕層をターゲットとした市場へ進出するという案もある。

⑧三重県

- ・ みえメディカルバレー構想を策定し、県民の健康をめざしたプロジェクトを推進。
- ・ 統合医療、予防医学に力を入れており、アリゾナ大学との提携を進めている。
- ・ 民の参加が課題であり、関係者が一同に会する場を積極的に設けていく。

⑨大阪市

- ・ 健康・予防医療分野を重点項目としている。
- ・ 今年度は大阪市立大学を中心とした研究チームにより、「癒し・抗疲労」関連の科学的根拠をもった商品開発を進めており、第1号商品「活生氣御前」が完成したところ。大阪市役所食堂での試験販売成果も好調である。

⑩京都市

- ・ 京都バイオシティ構想のもと、①医学と工学の融合分野、②環境分野、③地域資源を活用した分野において育成を進めている。
- ・ 特に、医工連携に力を入れており、オートプシー・イメージング機器の開発、希少難病の創薬等に取り組んでいる。

⑪神戸市

- ・ ポートアイランド第2期を中心に、高度医療技術の研究開発・開発拠点を整備し、これまで一定の成果を得たといえる。
- ・ 現在は平成19年3月に提言された「神戸健康科学振興ビジョン」の具体化作業を進めているところ。
- ・ 知的クラスター創成事業の第二期として、再生医療の実用化等をテーマとしている。
- ・ 現在ポートアイランドに156社が進出しており、23年春には新中央市民病院の移転・開業、また次世代スーパーコンピュータ施設は22年度建設完了予定である。

⑫関西経済連合会

- ・ けいはんなにおいて、光技術と医療技術を融合させた光医療産業バレー構想を進めている。特に、がんを切除せずに治療するレーザー治療の研究に力を入れている。
- ・ 推進体制は複数の大学、企業からなる強力なものである。

⑬近畿商工会議所連合会

- ・ 次世代医療システム産業化フォーラム2009を実施。毎月開催の定例研究会と随時開催の個別ミーティングの二本柱で取り組みを進めている。
- ・ 支援体制について、産学連携コーディネーターを配置しているところがポイント。

(3) 国側の報告

- ・ 内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省から、各府省におけるライフサイエンス関連支援施策及び関連予算等について紹介。

6 主な意見

- ・ 【内閣府】徳島県のコホート研究構想は、良い取り組みと感ずるので長期的な視野で進めてもらいたい。
- ・ 【事務局】徳島県の糖尿病ワーストの主たる原因はわかっているのか？
⇒【徳島県】伝統的な食生活や遺伝等と言われているが確固たる解明には至っていない。
- ・ 【近畿商工会】月末に総選挙を控えているが、本取り組みは関西にとって非常に重要なものであり、政権交代となっても引き続きバックアップをお願いしたい。
- ・ 【大阪府】新医薬品の製造販売承認後にかかるGMP調査(基準適合調査)について、国の機関による審査が長期間にわたること等から、大阪府内での製造にかかるものは、府で実施できるように規制緩和してもらいたい。
⇒【厚労省】担当に伝えておく。

7 その他

事務局より、次回開催については関西バイオ推進会議事務局(近畿商工会議所連合会)と調整し改めて連絡する。

8 閉会

以上